

りそな つみたてリスクコントロールファンド

追加型投信／内外／資産複合

交付運用報告書

第1期(決算日2023年11月20日)

作成対象期間(2022年12月28日～2023年11月20日)

| 第1期末(2023年11月20日) | |
|-------------------|---------|
| 基準価額 | 10,429円 |
| 純資産総額 | 346百万円 |
| 第1期 | |
| 騰落率 | 4.3% |
| 分配金(税引前)合計 | 0円 |

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド検索」にファンド名を入力⇒該当のファンドを選択⇒「交付運用報告書・運用報告書(全体版)」を選択

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「りそな つみたてリスクコントロールファンド」は、このたび、第1期の決算を行いました。

当ファンドは各マザーファンドを通じて、世界各国の債券、株式およびリートなどの資産に分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、期中の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

りそなアセットマネジメント 株式会社

東京都江東区木場1丁目5番65号

<照会先>

電話番号：0120-223351

(委託会社の営業日の午前9時～午後5時)

ホームページ：<https://www.resona-am.co.jp/>

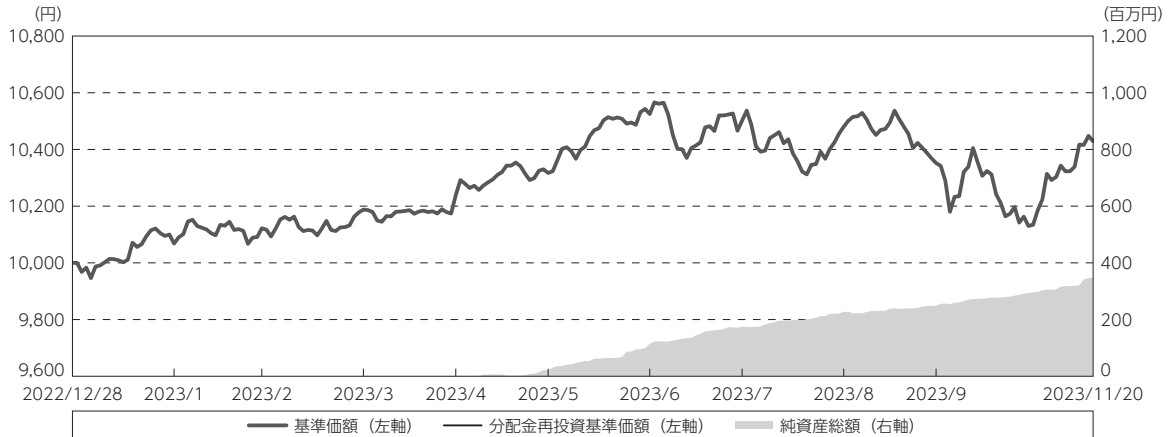


見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2022年12月28日～2023年11月20日)



設定時：10,000円

期 末：10,429円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率： 4.3% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

主に国内経済の正常化進展への期待や円安進行、主要国中央銀行(日本除く)の利上げが最終局面入りすることが意識されたことにより、内外株式を中心に上昇したことが基準価額の主な上昇要因となりました。

投資対象とする各マザーファンドの当期末組入比率および期中騰落率

| | 当期末 組入比率* | 期中騰落率 |
|-------------------------|--------------|-------|
| RM国内債券マザーファンド | 38.8% | -0.3% |
| RM先進国債券マザーファンド(為替ヘッジあり) | 16.3% | -3.4% |
| RM先進国債券マザーファンド | - | - |
| RM国内株式マザーファンド | 22.9% | 27.4% |
| RM先進国株式マザーファンド | 17.4% | 30.9% |
| RM国内リートマザーファンド | 2.5% | 0.2% |
| RM先進国リートマザーファンド | 0.9% | 11.7% |
| RM新興国株式マザーファンド | 0.9% | 16.2% |
| RMマネーマザーファンド | - | - |

* 純資産総額に対する比率です。

1万口当たりの費用明細

(2022年12月28日～2023年11月20日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|-----------------------|-------|---------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 | 101 | 0.988 | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| (投 信 会 社) | (49) | (0.479) | ファンドの運用・調査、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 |
| (販 売 会 社) | (49) | (0.479) | 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| (受 託 会 社) | (3) | (0.030) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料 | 0 | 0.001 | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (株 式) | (0) | (0.000) | |
| (投 資 信 託 証 券) | (0) | (0.000) | |
| (先 物 ・ オ プ シ ョ ン) | (0) | (0.001) | |
| (c) 有 価 証 券 取 引 税 | 0 | 0.001 | (c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (株 式) | (0) | (0.001) | |
| (投 資 信 託 証 券) | (0) | (0.000) | |
| (d) そ の 他 費 用 | 2 | 0.015 | (d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (保 管 費 用) | (1) | (0.007) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| (監 査 費 用) | (1) | (0.006) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| (そ の 他) | (0) | (0.001) | その他は、権利・配当にかかる税金及びその払戻し、ファンドの運営管理にかかる費用等 |
| 合 計 | 103 | 1.005 | |
| 期中の平均基準価額は、10,264円です。 | | | |

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

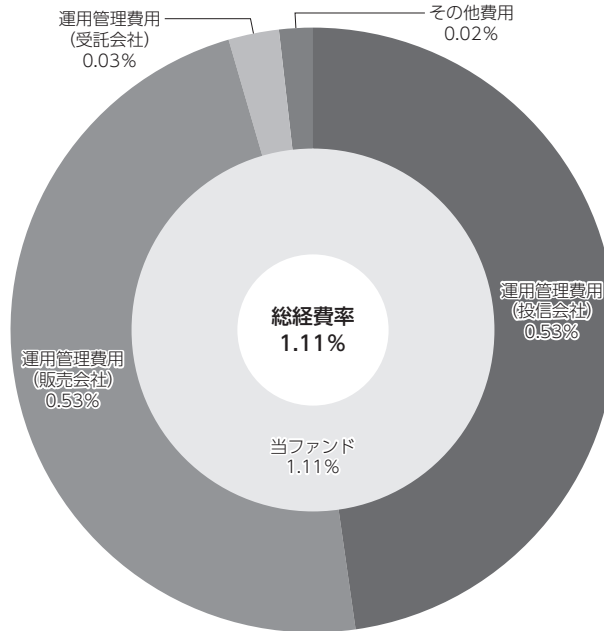
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.11%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年11月20日～2023年11月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 当ファンドの設定日は2022年12月28日です。

| | 2022年12月28日 設定日 | 2023年11月20日 決算日 |
|-------------------|--------------------|--------------------|
| 基準価額 (円) | 10,000 | 10,429 |
| 期間分配金合計(税引前) (円) | — | 0 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | — | 4.3 |
| 純資産総額 (百万円) | 1 | 346 |

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2023年11月20日の騰落率は設定当初との比較です。
 (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

投資環境

(2022年12月28日～2023年11月20日)

国内債券市況

国内の長期金利は、設定時と比較して上昇（債券価格は下落）しました。設定当初は、米国の一部の中堅銀行の破綻を契機に国内の長期金利は大きく変動する場面がみられました。2023年7月末の日銀の金融政策決定会合では、長期金利の変動許容幅が実質的に1%まで拡大されるなか、10年国債利回りは0.7%台まで上昇しました。その後、主要先進国の金利上昇を受けて、国内の10年国債利回りが0.9%台後半まで上昇するなか、日銀は10月末に長期金利が1%を超えることを実質的に許容する長短金利操作（イールドカーブ・コントロール、YCC）の再柔軟化を決定しました。

先進国債券市況

先進国の長期金利は、設定時と比較して上昇（債券価格は下落）しました。主要国中央銀行（日本除く）がインフレ抑制を目的として、急速なペースで利上げを継続したことから先進国の金利水準は上昇しました。2023年3月以降、米国の一部の中堅銀行の破綻などをきっかけに、米欧を中心に金融システム不安が強まり、先進国の長期金利が低下する場面もみられました。その後は主要国中央銀行（日本除く）による利上げ終了時期や、将来の利下げ開始時期を巡る不透明感などから、長期金利は上下する展開となりました。

国内株式市況

国内の株式市場は、設定時と比較して上昇しました。期前半には、米欧を中心とする金融システム不安に対する警戒感から相場が不安定化する場面もみられましたが、国内企業の資本効率改善への期待感や日銀による緩和的な金融政策が相場の下支えとなり、国内株式市場は上昇しました。期後半には、東証株価指数（TOPIX）や日経平均株価（日経225）は、1990年以来の高値を更新する場面もみられました。

先進国株式市況

先進国の株式市場は、設定時と比較して上昇しました。設定当初は、堅調な企業業績が支援材料となり上昇しました。2023年3月には、米国の一部の中堅銀行の破綻などをきっかけに、米欧を中心に金融システム不安が強まり、売り圧力が強まる場面もみられました。その後、金融システム不安が小康状態入りしたほか、主要国中央銀行（日本除く）による利上げの最終局面入りが意識され、買い安心感が広がりました。期末にかけて、金融引き締め長期化観測と利下げ期待が交錯するなか、先進国の株式市場は大きく上下する展開となりました。

国内リート市況

国内のリート市場は、設定時と比較して上昇しました。期前半は、主要国中央銀行（日本除く）による金融引き締めや国内金利上昇が嫌気され、相場が不安定化する場面もみられました。2023年3月の米欧を中心とする金融システム不安のほか、日銀による長短金利操作（イールドカーブ・コントロール、YCC）の修正など金融政策を巡る先行き不透明感から、国内リート市場は上値の重さが残る展開とな

りました。期末にかけては、主要国金利の上昇の一巡感や株式などリスク性資産の買い戻しの動きに国内リート市場は下支えされました。

先進国リート市況

先進国のリート市場は、設定時と比較して上昇しました。設定当初は、長期金利低下を支えに買い戻しの動きが強まり、先進国のリート市場は上昇しました。2023年3月には米国の一部の中堅銀行の破綻などをきっかけに、米欧を中心に金融システム不安が強まり、先進国のリート市場は下落する場面がみられました。期後半は、長期金利の動きにつれて、先進国リート市場は上下しましたが、主要国中央銀行（日本除く）の金融引き締めによる資金調達環境の悪化が意識され上値の重い展開となりました。

新興国株式市況

新興国の株式市場は、設定時と比較して上昇しました。中国では、ゼロコロナ政策緩和を支援材料に上昇する場面もみられましたが、その後、不動産市場の低迷などを受けた景気停滞感を背景に上値の重い展開となりました。台湾や韓国では、半導体関連銘柄の占める割合が多いことからAI（人工知能）をテーマに上昇したほか、インドでは、中国市場の代替先として選好され上昇基調で推移しました。

為替市況

設定時と比較して、円は米ドル・ユーロの双方に対して円安となりました。

米ドルに対して、設定当初は、内外金利差の縮小に伴って1米ドル＝120円台後半まで円高が進む場面がみられました。その後、インフレ抑制を目指すFRB（米連邦準備制度理事会）が金融引き締めを続ける一方、日銀は金融緩和姿勢を維持したことなどから1米ドル＝151円台まで円安が進行しました。

ユーロに対して、ECB（欧州中央銀行）がインフレ抑制姿勢を維持するなか1ユーロ＝164円台まで円安が進行しました。

新興国通貨は、ブラジルやメキシコなどの中南米諸国では、インフレ率に対して高水準の政策金利が維持されたことから、円・米ドルの双方に対して通貨高が進行しました。一方、中国では緩和的な金融政策が維持され、米ドルに対して元安が進行しました。トルコでは、金融政策の先行き不透明感が払拭されず、円・米ドルの双方に対して通貨安が大幅に進行しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2022年12月28日～2023年11月20日)

各マザーファンドを通じて、世界各国の債券、株式およびリートなどの資産に分散投資を行いました。投資環境の変化に応じて、国内債券および先進国債券に投資を行い安定した収益の確保を目指しつつ、数値データの分析に基づく投資環境の判定基準にしたがって、国内および先進国の株式・リートならびに新興国の株式等へも機動的に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行いました。

各マザーファンド受益証券への投資は、投資環境を定量的に分析し、安定性重視資産（国内債券・先進国債券（為替ヘッジあり））および成長性重視資産（国内株式・先進国株式・新興国株式・国内リート・先進国リート）の配分比率を機動的に変更し、運用リスクのコントロールを行いました。安定性重視資産と成長性重視資産の配分比率の割合は、50%：50%程度から90%：10%程度の範囲内で変更しました。

2022年12月以降、米賃金指標の低下および物価指標の伸び率の鈍化により、インフレが加速する懸念が緩和したことに加え、2023年1月31日から2月1日にかけて開催されたF O M C（米連邦公開市場委員会）において利上げ幅が縮小されました。市場では早期利上げ停止に対する期待が高まるなか、定量分析の結果に基づき、成長性重視資産の配分比率を段階的に引き上げました。

しかしながら、3月において米国の一部の中堅銀行の破綻などをきっかけに米欧を中心として金融リスク不安が高まった際には、定量分析の結果に基づき、成長性重視資産の比率を低位に引き下げました。

一方、3月下旬以降については、米金融当局による迅速な対応もあり、金融システム不安は鎮静化に向かいました。5月から6月にかけては交渉が難航していた米国の債務上限問題が解決したことに加え、同月中旬に開催されたF O M Cでは政策金利の誘導目標の据え置きが決定されました。加えて、米欧における物価指標の低下によるインフレ懸念の鈍化などにより、市場では主要国中央銀行（日本除く）による利上げの最終局面入りが意識されるなか、定量分析の結果に基づき、7月にかけて成長性重視資産の比率を段階的に高位まで引き上げました。

8月以降については、各種物価指標や経済指標および当局関係者の発言に着目しつつ金融政策の方向性を探る展開となり、株式市場は短期的には調整する局面もみられたものの、成長性資産の比率は比較的高位を維持しました。

10月においては、堅調な物価指標の発表や中東情勢の悪化懸念が高まったことなどにより、株式市場のボラティリティの高まる環境となるなか、成長性重視資産の比率を低位まで引き下げました。他方、11月においては、米景気鈍化を示唆する経済指標やインフレ鈍化を示唆する物価指標が発表されました。また、F O M Cによる2会合連続での利上げ見送りなどが材料視され、市場における利上げ終了観測がより一層強まりました。株式市場の大幅な上昇が観測されており、定量分析の結果に基づき、成長性重視資産の比率を高位に引き上げました。

R M国内債券マザーファンド

国内の債券を主要投資対象とし、N O M U R A - B P I 総合の動きに連動する投資成果を目指してファンドの特性値（満期構成やデュレーション（金利感応度））をベンチマークに概ね一致させたポートフォリオを構築しました。

R M先進国債券マザーファンド（為替ヘッジあり）

日本を除く先進国の債券を主要投資対象とし、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）の動きに連動する投資成果を目指してファンドの特性値（通貨構成、満期構成、デュレーション（金利感応度））をベンチマークに概ね一致させたポートフォリオを構築しました。また、ベンチマークとの連動性を高めるため、投資対象資産の通貨は対円で為替ヘッジ（為替の売り予約）を行いました。

R M国内株式マザーファンド

国内の株式を主要投資対象とし、東証株価指数（T O P I X、配当込み）の動きに連動する投資成果を目指してファンドの特性値（業種構成比など）をベンチマークに概ね一致させたポートフォリオを構築しました。

R M先進国株式マザーファンド

日本を除く先進国の株式を主要投資対象とし、M S C I - K O K U S A I 指数（配当込み、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指してファンドの特性値（国別構成比、業種構成比など）をベンチマークに概ね一致させたポートフォリオを構築しました。なお、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行っておりません。

R M国内リートマザーファンド

国内の不動産投資信託証券を主要投資対象とし、東証R E I T指数（配当込み）の動きに連動する投資成果を目指してファンドの特性値（用途別の比率など）をベンチマークに概ね一致させたポートフォリオを構築しました。

R M先進国リートマザーファンド

日本を除く先進国の不動産投資信託証券を主要投資対象とし、S & P先進国R E I T指数（除く日本、配当込み、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指してファンドの特性値（国別構成比、用途別の比率など）をベンチマークに概ね一致させたポートフォリオを構築しました。なお、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行っておりません。

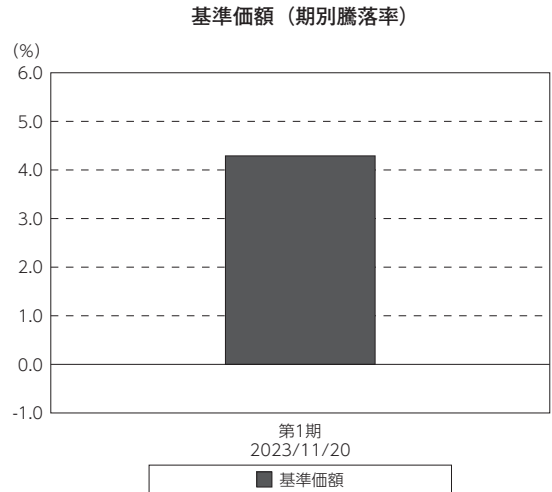
R M新興国株式マザーファンド

新興国の株式を主要投資対象とし、M S C I エマージング・マーケット指数（配当込み、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指してファンドの特性値（国別構成比、業種構成比など）をベンチマークに概ね一致させたポートフォリオを構築しました。なお、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行っておりません。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年12月28日～2023年11月20日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定していません。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

(2022年12月28日～2023年11月20日)

当期の収益分配金につきましては、基準価額の水準、市況動向等を勘案した上で、分配を見送りとさせていただきます。収益分配にあてなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

| 項 目 | 第 1 期 |
|-----------|-----------------------------|
| | 2022年12月28日～ 2023年11月20日 |
| 当期分配金 | — |
| (対基準価額比率) | —% |
| 当期の収益 | — |
| 当期の収益以外 | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 429 |

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

引き続き、各マザーファンド受益証券への投資を通じ、国内債券および先進国債券に投資を行い安定した収益の確保を目指しつつ、数値データの分析に基づく投資環境の判定基準にしたがって、国内および先進国の株式・リートならびに新興国の株式等へも機動的に投資を行い、投資環境の変化に応じた運用を行います。

RM国内債券マザーファンド

引き続き、主としてNOMUR A - B P I 総合に採用されている国内の債券に投資し、NOMUR A - B P I 総合の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。

RM先進国債券マザーファンド（為替ヘッジあり）

引き続き、主としてFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）に採用されている先進国の債券に投資し、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。なお、原則として、為替ヘッジ（為替の売り予約）を行います。

RM先進国債券マザーファンド

引き続き、主としてFTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）に採用されている先進国の債券に投資し、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。なお、原則として、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行いません。

RM国内株式マザーファンド

引き続き、主として東証株価指数（TOP I X、配当込み）に採用されている国内の株式に投資し、東証株価指数（TOP I X、配当込み）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。

RM先進国株式マザーファンド

引き続き、主としてMSC I - K O K U S A I 指数（配当込み、円換算ベース）に採用されている日本を除く先進国の株式に投資し、MSC I - K O K U S A I 指数（配当込み、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。なお、原則として、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行いません。

RM国内リートマザーファンド

引き続き、主として東証REIT指数（配当込み）に採用されている不動産投資信託証券に投資し、東証REIT指数（配当込み）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。

RM先進国リートマザーファンド

引き続き、主としてS & P先進国REIT指数（除く日本、配当込み、円換算ベース）に採用されている不動産投資信託証券および不動産関連株式に投資し、S & P先進国REIT指数（除く日本、配当込み、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。なお、原則として、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行いません。

RM新興国株式マザーファンド

引き続き、主としてMSCIEマージング・マーケット指数（配当込み、円換算ベース）に採用されている新興国の株式に投資し、MSCIEマージング・マーケット指数（配当込み、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。なお、原則として、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行いません。

RMマネーマザーファンド

引き続き、残存期間の短い国内の公社債へ投資し、利息等収益の獲得および流動性の確保を目指して運用を行います。

お知らせ

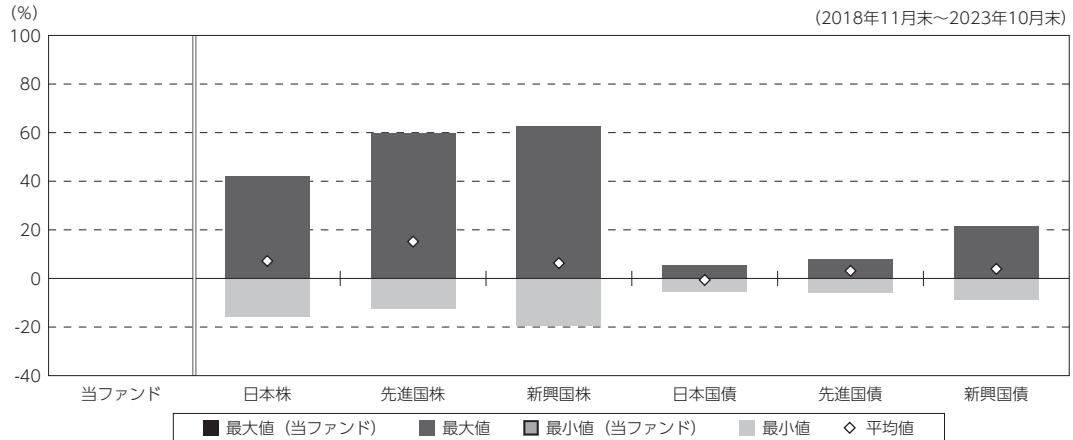
該当事項はございません。

当ファンドの概要

| | | |
|--------|--|---|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／資産複合 | |
| 信託期間 | 2022年12月28日から無期限です。 | |
| 運用方針 | 主として以下の各マザーファンド受益証券への投資を通じ、実質的に国内および先進国の債券・株式・不動産投資信託証券（リート）ならびに新興国の株式等に分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 | |
| 主要投資対象 | りそな つみたてリスクコントロールファンド | 以下の各マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。 |
| | RM国内債券マザーファンド | ・NOMUR A-B P I 総合に採用されている国内の債券 |
| | RM先進国債券マザーファンド（為替ヘッジあり） | ・FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）に採用されている先進国の債券 |
| | RM先進国債券マザーファンド | ・FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）に採用されている先進国の債券 |
| | RM国内株式マザーファンド | ・東証株価指数（TOPIX、配当込み）に採用されている株式 |
| | RM先進国株式マザーファンド | ・金融商品取引所に上場されているまたは店頭登録されている先進国株式等（日本の株式を除きます。以下同じ。） ・先進国株式の指数を対象指数としたETF |
| | RM国内リートマザーファンド | ・東証REIT指数（配当込み）に採用されている不動産投資信託証券 |
| | RM先進国リートマザーファンド | ・先進国（除く日本）の金融商品取引所に上場されているまたは店頭登録されている不動産投資信託証券 ・先進国（除く日本）の金融商品取引所に上場されているまたは店頭登録されている不動産関連株式 ・先進国の不動産投資信託証券に関する指数を対象指数としたETF |
| | RM新興国株式マザーファンド | ・金融商品取引所に上場されているまたは店頭登録されている新興国株式等 ・新興国株式の指数を対象指数としたETF |
| | RMマネーマザーファンド | ・国内の公社債 |
| 運用方法 | <p>①各マザーファンド受益証券への投資を通じ、実質的に国内債券および先進国債券に投資を行い安定した収益の確保を目指しつつ、数値データの分析に基づく投資環境の判定基準にしたがって、国内および先進国の株式・リートならびに新興国の株式等へも機動的に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。</p> <p>②各マザーファンド（RMマネーマザーファンドを除きます。）は対象指数に連動する投資成果を目指します。</p> <p>③投資環境の悪化等によっては、RMマネーマザーファンド受益証券への投資を通じて残存期間の短い国内の公社債等へ投資を行い、価格変動性の低い資産への投資割合を増やすことがあります。</p> <p>④実質組入外貨建資産については、一部為替ヘッジを行います。</p> | |
| 分配方針 | 毎決算時に、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等を分配対象額とし、原則として基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。 | |

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

| | 当ファンド | 日本株 | 先進国株 | 新興国株 | 日本国債 | 先進国債 | 新興国債 |
|-----|-------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|
| 最大値 | - | 42.1 | 59.8 | 62.7 | 5.4 | 7.9 | 21.5 |
| 最小値 | - | △ 16.0 | △ 12.4 | △ 19.4 | △ 5.5 | △ 6.1 | △ 8.8 |
| 平均値 | - | 7.2 | 15.2 | 6.3 | △ 0.6 | 3.1 | 3.9 |

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年11月から2023年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドにつきましては、運用期間が1年未満であるため掲載しておりません。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※詳細は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2023年11月20日現在)

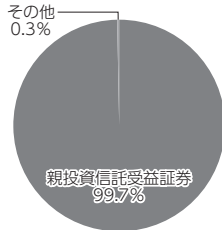
○組入上位ファンド

| 銘 柄 名 | 第1期末 |
|-------------------------|------|
| | % |
| RM国内債券マザーファンド | 38.8 |
| RM国内株式マザーファンド | 22.9 |
| RM先進国株式マザーファンド | 17.4 |
| RM先進国債券マザーファンド(為替ヘッジあり) | 16.3 |
| RM国内リートマザーファンド | 2.5 |
| RM先進国リートマザーファンド | 0.9 |
| RM新興国株式マザーファンド | 0.9 |
| 組入銘柄数 | 7銘柄 |

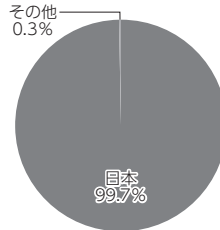
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

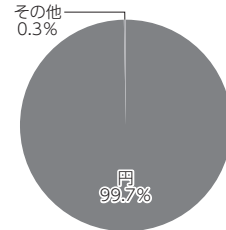
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

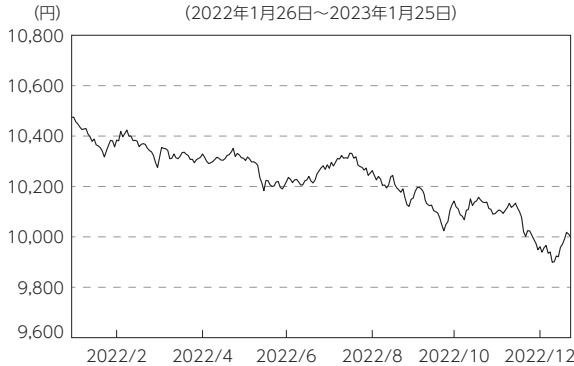
| 項 目 | 第1期末 |
|-------------|--------------|
| | 2023年11月20日 |
| 純 資 産 総 額 | 346,849,258円 |
| 受 益 権 総 口 数 | 332,573,848口 |
| 1万円当たり基準価額 | 10,429円 |

(注) 期中における追加設定元本額は353,107,605円、同解約元本額は21,533,757円です。

組入上位ファンドの概要

RM国内債券マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年1月26日～2023年1月25日)

| 項 目 | 当 期 | |
|----------------------------|----------|------------------|
| | 金 額 | 比 率 |
| (a) そ の 他 費 用 (そ の 他) | 0 (0) | 0.000 (0.000) |
| 合 計 | 0 | 0.000 |

期中の平均基準価額は、10,244円です。

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

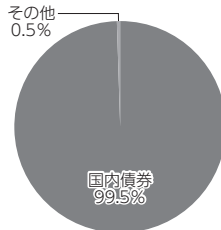
| 銘柄名 | 業種/種別等 | 通貨 | 国(地域) | 比率 |
|------------------|--------|-------|-------|------|
| 1 第142回利付国債(5年) | 国債証券 | 円 | 日本 | 1.6% |
| 2 第144回利付国債(5年) | 国債証券 | 円 | 日本 | 1.4% |
| 3 第145回利付国債(5年) | 国債証券 | 円 | 日本 | 1.3% |
| 4 第356回利付国債(10年) | 国債証券 | 円 | 日本 | 1.2% |
| 5 第143回利付国債(5年) | 国債証券 | 円 | 日本 | 1.2% |
| 6 第148回利付国債(5年) | 国債証券 | 円 | 日本 | 1.2% |
| 7 第359回利付国債(10年) | 国債証券 | 円 | 日本 | 1.2% |
| 8 第147回利付国債(5年) | 国債証券 | 円 | 日本 | 1.2% |
| 9 第139回利付国債(5年) | 国債証券 | 円 | 日本 | 1.2% |
| 10 第140回利付国債(5年) | 国債証券 | 円 | 日本 | 1.1% |
| 組入銘柄数 | | 529銘柄 | | |

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

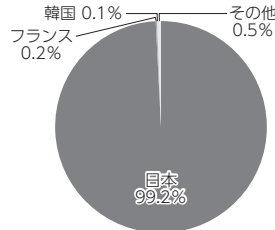
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

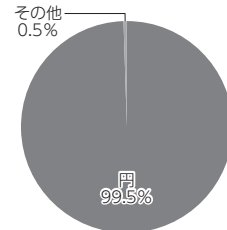
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは2023年1月25日現在のものです。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

RM先進国債券マザーファンド（為替ヘッジあり）

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2021年12月11日～2022年12月12日)

| 項 目 | 当 期 | |
|---------------|-----|---------|
| | 金 額 | 比 率 |
| (a) そ の 他 費 用 | 2 | 0.018 |
| （ 保 管 費 用 ） | (2) | (0.018) |
| （ そ の 他 ） | (0) | (0.000) |
| 合 計 | 2 | 0.018 |

期中の平均基準価額は、9,458円です。

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

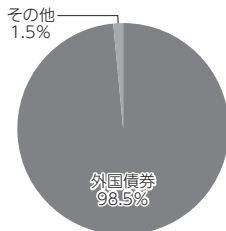
| | 銘 柄 名 | 業 種 / 種 別 等 | 通 貨 | 国 (地 域) | 比 率 |
|----|-----------------------------------|-------------|-------|-----------|-----|
| 1 | US TREASURY N/B 2.875% 2032/5/15 | 国債証券 | 米ドル | アメリカ | 0.6 |
| 2 | US TREASURY N/B 1.875% 2032/2/15 | 国債証券 | 米ドル | アメリカ | 0.5 |
| 3 | US TREASURY N/B 1.375% 2031/11/15 | 国債証券 | 米ドル | アメリカ | 0.5 |
| 4 | US TREASURY N/B 1.25% 2031/8/15 | 国債証券 | 米ドル | アメリカ | 0.4 |
| 5 | US TREASURY N/B 0.875% 2030/11/15 | 国債証券 | 米ドル | アメリカ | 0.4 |
| 6 | US TREASURY N/B 2.75% 2032/8/15 | 国債証券 | 米ドル | アメリカ | 0.4 |
| 7 | US TREASURY N/B 1.625% 2031/5/15 | 国債証券 | 米ドル | アメリカ | 0.4 |
| 8 | US TREASURY N/B 0.625% 2030/8/15 | 国債証券 | 米ドル | アメリカ | 0.4 |
| 9 | US TREASURY N/B 2.5% 2024/5/15 | 国債証券 | 米ドル | アメリカ | 0.4 |
| 10 | US TREASURY N/B 1.5% 2027/1/31 | 国債証券 | 米ドル | アメリカ | 0.4 |
| | 組入銘柄数 | | 891銘柄 | | |

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

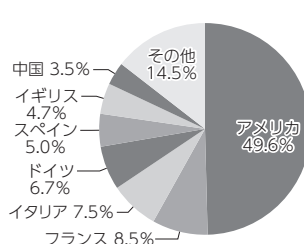
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

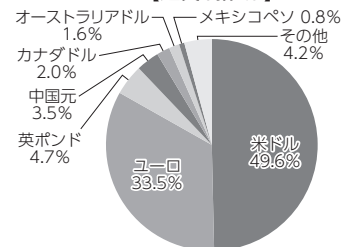
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

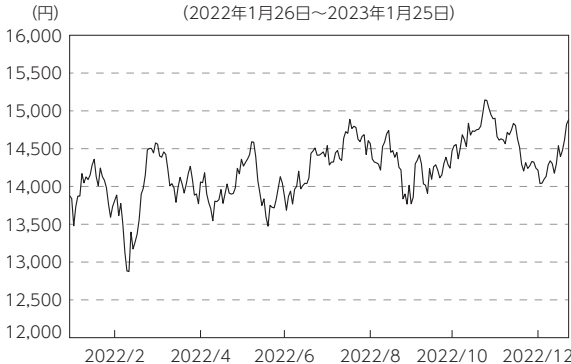
(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは2022年12月12日現在のものです。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

R M国内株式マザーファンド

【基準価額の推移】

(2022年1月26日～2023年1月25日)



【1万口当たりの費用明細】

(2022年1月26日～2023年1月25日)

| 項目 | 当期 | |
|------------------------------------|-----------------|-----------------------------|
| | 金額 | 比率 |
| | 円 | % |
| (a) 売買委託手数料 (株 式) (先物・オプション) | 0 (0) (0) | 0.000 (0.000) (0.000) |
| (b) その他費用 (その他) | 0 (0) | 0.000 (0.000) |
| 合 計 | 0 | 0.000 |

期中の平均基準価額は、14,208円です。

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

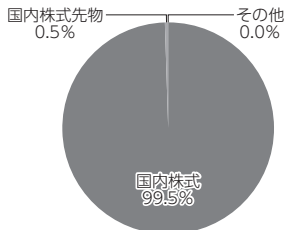
| | 銘柄名 | 業種/種別等 | 通貨 | 国(地域) | 比率 |
|----|-------------------|--------|----|---------|------|
| 1 | トヨタ自動車 | 輸送用機器 | 円 | 日本 | 3.6% |
| 2 | ソニーグループ | 電気機器 | 円 | 日本 | 2.9% |
| 3 | 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 銀行業 | 円 | 日本 | 2.1% |
| 4 | キーエンス | 電気機器 | 円 | 日本 | 2.1% |
| 5 | 日本電信電話 | 情報・通信業 | 円 | 日本 | 1.7% |
| 6 | 三井住友フィナンシャルグループ | 銀行業 | 円 | 日本 | 1.4% |
| 7 | 第一三共 | 医薬品 | 円 | 日本 | 1.3% |
| 8 | 武田薬品工業 | 医薬品 | 円 | 日本 | 1.3% |
| 9 | ソフトバンクグループ | 情報・通信業 | 円 | 日本 | 1.2% |
| 10 | 任天堂 | その他製品 | 円 | 日本 | 1.2% |
| | 組入銘柄数 | | | 2,162銘柄 | |

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

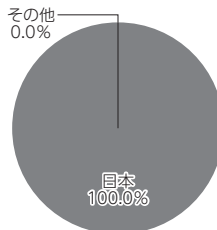
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

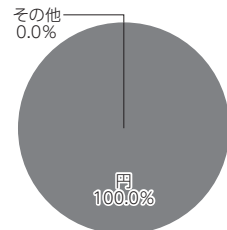
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

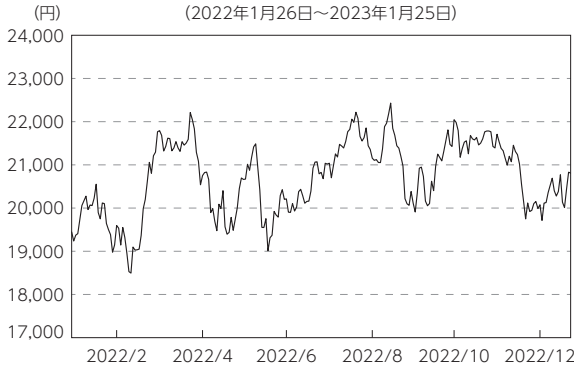
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは2023年1月25日現在のものです。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

R M先進国株式マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年1月26日～2023年1月25日)

| 項目 | 当期 | |
|---|------------------------------|--|
| | 金額 | 比率 |
| (a) 売買委託手数料 (株 式 式) (投 資 信 託 証 券) (先 物 ・ オ プ シ ョ ン) | 2 (0) (0) (2) | 0.012 (0.002) (0.000) (0.010) |
| (b) 有価証券取引税 (株 式 式) (投 資 信 託 証 券) | 3 (3) (0) | 0.016 (0.016) (0.000) |
| (c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他) | 6 (6) (0) | 0.029 (0.027) (0.002) |
| 合 計 | 11 | 0.057 |

期中の平均基準価額は、20,706円です。

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

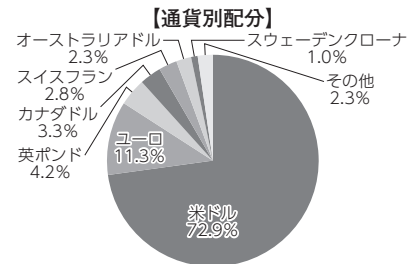
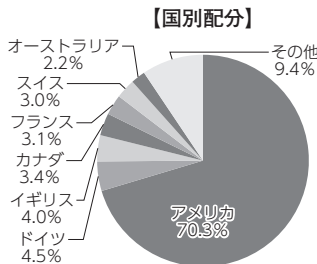
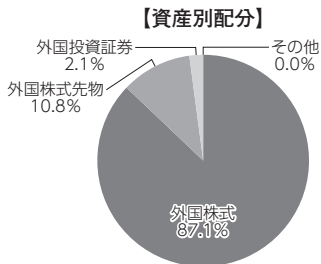
【組入上位10銘柄】

| | 銘柄名 | 業種/種別等 | 通貨 | 国(地域) | 比率 |
|-------|------------------------|--------------------|---------|-------|------|
| 1 | SP500MIN2303 | 株式先物(買建) | 米ドル | アメリカ | 8.6% |
| 2 | APPLE INC | テクノロジー・ハードウェアおよび機器 | 米ドル | アメリカ | 4.1 |
| 3 | MICROSOFT CORP | ソフトウェア・サービス | 米ドル | アメリカ | 3.1 |
| 4 | STX E6002303 | 株式先物(買建) | ユーロ | ドイツ | 2.2 |
| 5 | AMAZON.COM INC | 小売 | 米ドル | アメリカ | 1.6 |
| 6 | ALPHABET INC-CL A | メディア・娯楽 | 米ドル | アメリカ | 1.1 |
| 7 | ALPHABET INC-CL C | メディア・娯楽 | 米ドル | アメリカ | 1.0 |
| 8 | NVIDIA CORP | 半導体・半導体製造装置 | 米ドル | アメリカ | 0.9 |
| 9 | EXXON MOBIL CORP | エネルギー | 米ドル | アメリカ | 0.9 |
| 10 | UNITEDHEALTH GROUP INC | ヘルスケア機器・サービス | 米ドル | アメリカ | 0.8 |
| 組入銘柄数 | | | 1,275銘柄 | | |

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

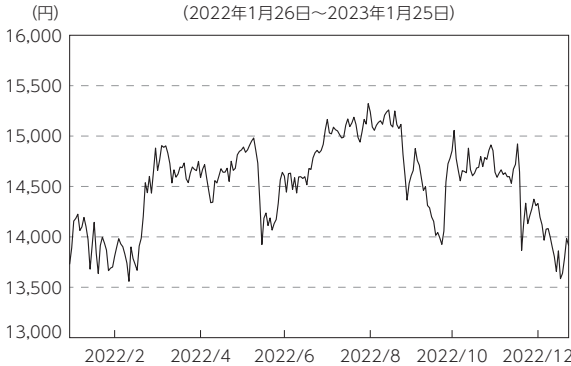
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは2023年1月25日現在のものです。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

RM国内リートマザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年1月26日～2023年1月25日)

| 項 目 | 当 期 | |
|---------------------------------|----------|------------------|
| | 金 額 | 比 率 |
| | 円 | % |
| (a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション) | 0 (0) | 0.001 (0.001) |
| (b) そ の 他 費 用 (そ の 他) | 0 (0) | 0.000 (0.000) |
| 合 計 | 0 | 0.001 |
| 期中の平均基準価額は、14,648円です。 | | |

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

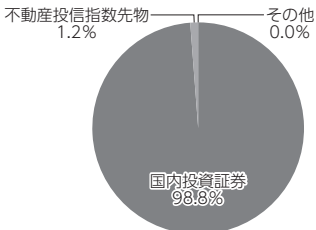
| | 銘 柄 名 | 業 種 / 種 別 等 | 通 貨 | 国 (地 域) | 比 率 |
|----|-------------------|-------------|-----|-----------|------|
| 1 | 日本ビルファンド投資法人 | 投資証券 | 円 | 日本 | 6.3% |
| 2 | ジャパンリアルエステイト投資法人 | 投資証券 | 円 | 日本 | 5.4% |
| 3 | 日本都市ファンド投資法人 | 投資証券 | 円 | 日本 | 4.8% |
| 4 | 野村不動産マスターファンド投資法人 | 投資証券 | 円 | 日本 | 4.8% |
| 5 | 日本プロロジスリート投資法人 | 投資証券 | 円 | 日本 | 4.7% |
| 6 | GLP投資法人 | 投資証券 | 円 | 日本 | 4.5% |
| 7 | 大和ハウスリート投資法人 | 投資証券 | 円 | 日本 | 4.0% |
| 8 | オリックス不動産投資法人 | 投資証券 | 円 | 日本 | 3.4% |
| 9 | ユナイテッド・アーバン投資法人 | 投資証券 | 円 | 日本 | 3.2% |
| 10 | アドバンス・レジデンス投資法人 | 投資証券 | 円 | 日本 | 3.1% |
| | 組入銘柄数 | | | 62銘柄 | |

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

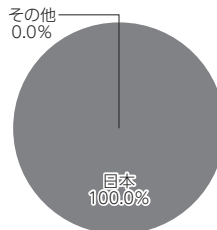
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

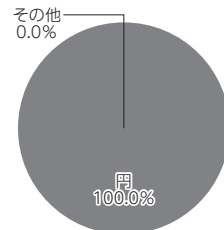
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

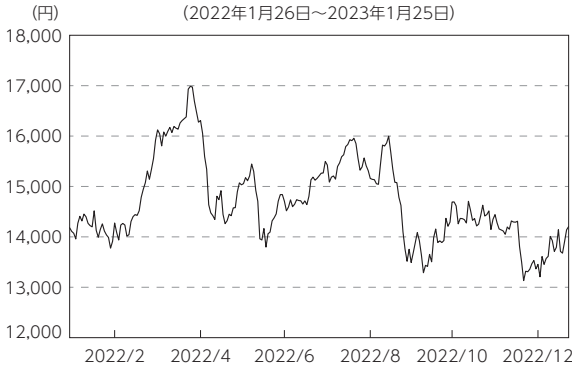
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは2023年1月25日現在のものです。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

RM先進国リートマザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年1月26日～2023年1月25日)

| 項目 | 当期 | |
|---|-------------------|-----------------------------|
| | 金額 | 比率 |
| (a) 売買委託手数料 (株 式 券) (投 資 信 託 証 券) | 5 (0) (5) | 0.037 (0.000) (0.037) |
| (b) 有価証券取引税 (株 式 券) (投 資 信 託 証 券) | 5 (0) (5) | 0.035 (0.000) (0.035) |
| (c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他) | 15 (12) (2) | 0.098 (0.084) (0.014) |
| 合 計 | 25 | 0.170 |

期中の平均基準価額は、14,776円です。

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

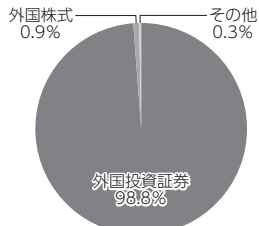
| | 銘柄名 | 業種/種別等 | 通貨 | 国(地域) | 比率 |
|----|------------------------------|--------|-------|-------|-----|
| 1 | PROLOGIS INC | 投資証券 | 米ドル | アメリカ | 8.6 |
| 2 | EQUINIX INC | 投資証券 | 米ドル | アメリカ | 4.9 |
| 3 | PUBLIC STORAGE | 投資証券 | 米ドル | アメリカ | 3.4 |
| 4 | REALTY INCOME CORP | 投資証券 | 米ドル | アメリカ | 3.1 |
| 5 | SIMON PROPERTY GROUP INC | 投資証券 | 米ドル | アメリカ | 3.0 |
| 6 | WELLTOWER INC | 投資証券 | 米ドル | アメリカ | 2.6 |
| 7 | VICI PROPERTIES INC | 投資証券 | 米ドル | アメリカ | 2.4 |
| 8 | DIGITAL REALTY TRUST INC | 投資証券 | 米ドル | アメリカ | 2.3 |
| 9 | AVALONBAY COMMUNITIES INC | 投資証券 | 米ドル | アメリカ | 1.8 |
| 10 | ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUIT | 投資証券 | 米ドル | アメリカ | 1.8 |
| | 組入銘柄数 | | 326銘柄 | | |

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

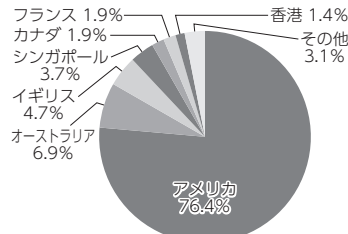
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

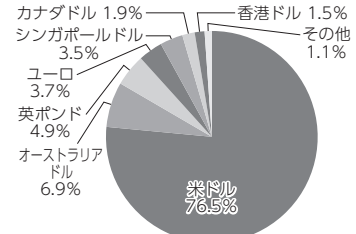
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

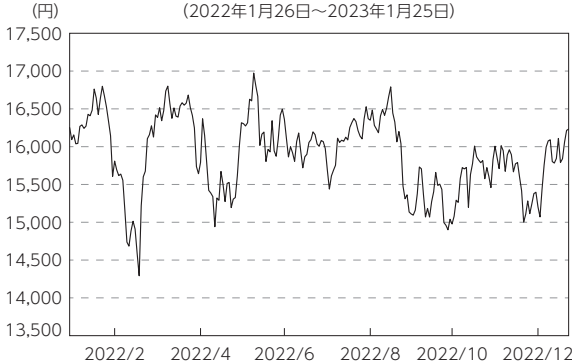
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは2023年1月25日現在のものです。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

R M新興国株式マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年1月26日～2023年1月25日)

| 項目 | 当期 | |
|--|------------------------|--|
| | 金額 | 比率 |
| (a) 売買委託手数料 (株 式 券) (投 資 信 託 証 券) (先 物 ・ オ プ シ ョ ン) | 8 (5) (0) (3) | 0.050 (0.034) (0.000) (0.016) |
| (b) 有価証券取引税 (株 式 券) (投 資 信 託 証 券) | 7 (7) (0) | 0.043 (0.043) (0.000) |
| (c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他) | 47 (38) (10) | 0.299 (0.238) (0.061) |
| 合 計 | 62 | 0.392 |

期中の平均基準価額は、15,831円です。

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

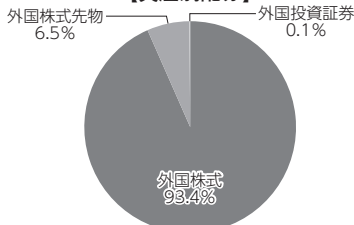
| 順位 | 銘柄名 | 業種/種別等 | 通貨 | 国(地域) | 比率 |
|-------|------------------------------|--------------------|---------|--------|------|
| 1 | MSCIEMG 2303 | 株式先物(買建) | 米ドル | アメリカ | 6.5% |
| 2 | TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC | 半導体・半導体製造装置 | 新台幣ドル | 台湾 | 5.6% |
| 3 | TENCENT HOLDINGS LTD | メディア・娯楽 | 香港ドル | ケイマン諸島 | 4.3% |
| 4 | SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD | テクノロジー・ハードウェアおよび機器 | 韓国ウォン | 韓国 | 3.3% |
| 5 | ALIBABA GROUP HOLDING LTD | 小売 | 香港ドル | ケイマン諸島 | 3.0% |
| 6 | MEITUAN | 小売 | 香港ドル | ケイマン諸島 | 1.5% |
| 7 | RELIANCE INDUSTRIES LTD | エネルギー | インドルピー | インド | 1.2% |
| 8 | VALE SA | 素材 | ブラジルレアル | ブラジル | 1.0% |
| 9 | JD.COM INC - CL A | 小売 | 香港ドル | ケイマン諸島 | 0.9% |
| 10 | INFOSYS LTD | ソフトウェア・サービス | インドルピー | インド | 0.9% |
| 組入銘柄数 | | | 1,393銘柄 | | |

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

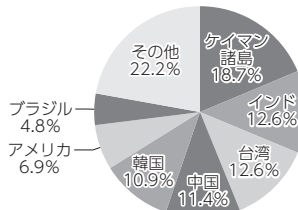
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

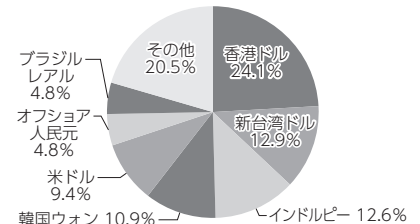
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは2023年1月25日現在のものです。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX、配当込み）

東証株価指数（TOPIX、配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）は、J.P.Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。